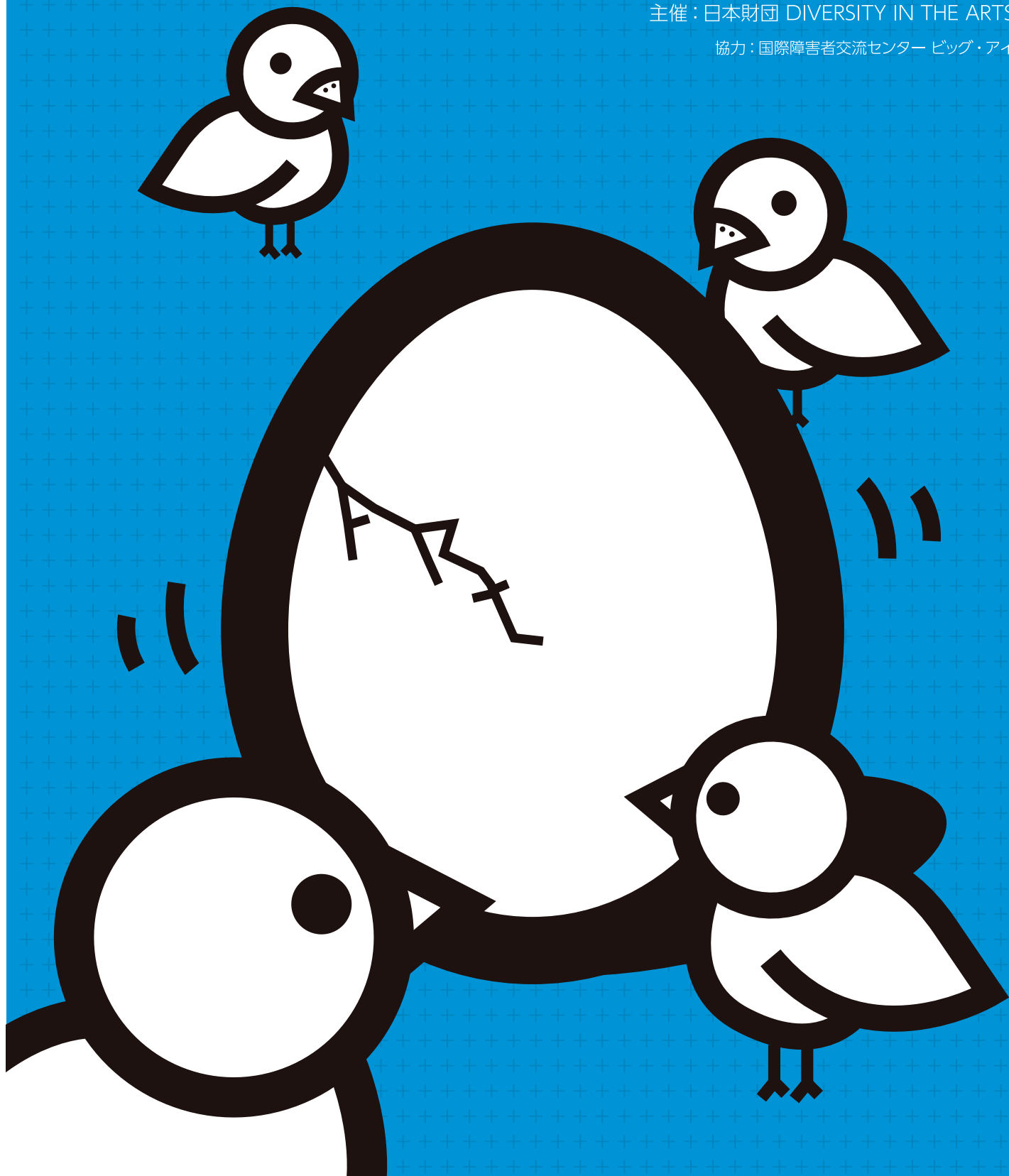


# 作品募集

応募締切 2022年6月30日(木)

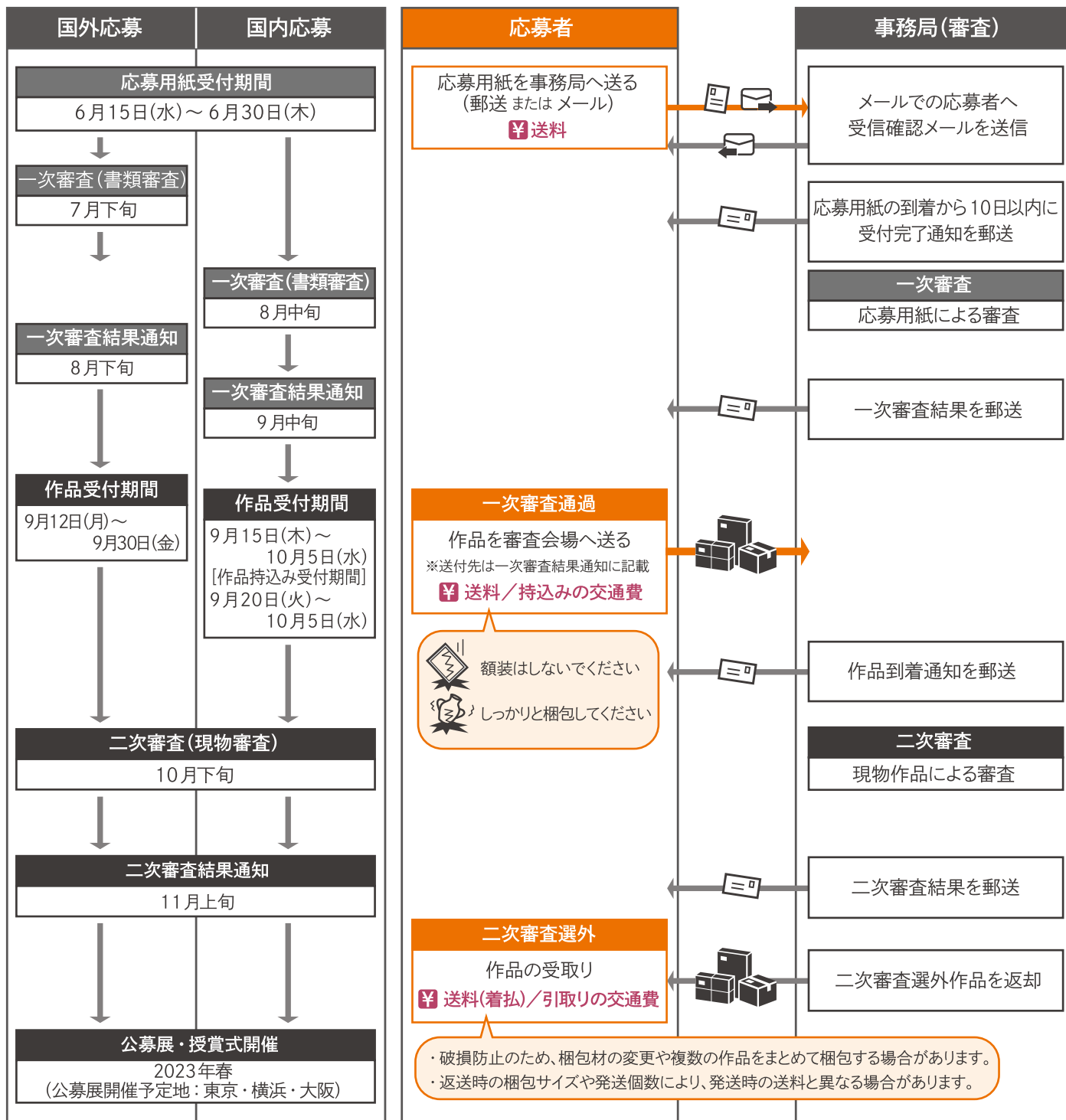
主催：日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

協力：国際障害者交流センター ビッグ・アイ



# 公募展の流れ

¥ は応募者負担



## ■入選作品の返却

佳作	2023年1月中旬
審査員賞・入賞	2023年5月

## ご注意

一次審査を通過していない作品が届いた場合は、  
¥ 送料着払いで返送します。

## ■入選特典

賞	図録への掲載・贈呈	公募展での作品展示	授賞式へのご招待
審査員賞(6点)・海外作品賞(1点)	●	●	●
入賞(43点)	●	●	—
佳作(50点)	●	—	—

※授賞式への交通費・宿泊費は主催者負担。 ※入選作品の返送料は主催者負担。

## 募集要項(国内応募)

募集要項を必ずご確認の上、ご応募ください。

※国外からの応募については、日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS ウェブサイト(英語ページ)よりご確認ください。

**出品規定** 国内外を問わず、障害のある方が制作したアート作品で過去に受賞歴のない作品

**応募資格** 次のいずれかに該当する方

- ①作者本人 ②親権者(未成年) ③保護者 ④後見人 ⑤作者から作品の使用権を移譲された法人

**応募点数** 1作者につき3点以内

### 出品規格

**種類** 平面作品(絵画、イラスト、グラフィックデザイン、書、写真)、立体作品(造形)など。素材やテーマは自由。

#### 【応募できない作品】

- 受賞したことのある作品
- 腐りやすい素材の作品(生花など)
- 危険物を使った作品(発火物や毒物など)
- 壊れやすい作品(保管・展示できないもの)
- プライバシー権や肖像権、著作権、商標権に抵触する作品

※応募前に、作品に使用して良いかを権利のある人に確認してください。

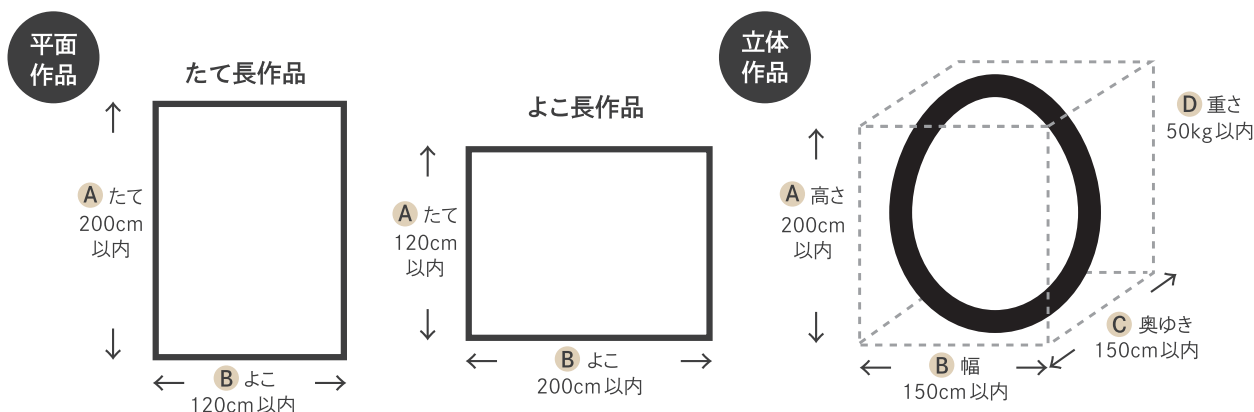
※応募作品の使用による損害に対して、主催者は一切責任を負いません。

#### 【応募・入選を取り消す場合】

- 応募用紙受付期間外に到着、または受信
- 応募用紙の記入事項が足りない
- 応募作品の写真がない
- 応募できない作品であることがわかった場合
- 応募条件を満たしていないことがわかった場合

**額装** 額装はしないでください。 ※額は壊れやすく、送料(応募者負担)が割高になります。

**大きさ・重さ** 展示の制約上、以下のサイズを限度とします。



※長い方の1辺200cm以内、2辺の合計320cm以内

※写真作品は、原則4ツ切りサイズ(25.4cm×30.5cm)以上。プリント方法やサイズも審査対象となります。

**応募料金** 無料 ¥送料は応募者負担

**応募条件** ●入選作品(審査員賞・海外作品賞・入賞・佳作)を主催者に貸し出せること[最長1年間]

●入選作品を以下の使用に同意できること

- 公募展での展示および広報
- 作品図録への掲載
- 主催者の記録
- 主催者のウェブサイトやSNS、その他メディアなどへの掲載

●出品規定、出品規格、応募条件を確認し、同意すること

**審査方法** 【一次審査(書類審査)】 応募用紙(A3判1枚)で審査します。 ※応募用紙以外の写真や資料は審査対象になりません。

【二次審査(現物審査)】 現物作品で審査します。

**応募用紙  
受付期間**

2022年6月15日(水)～6月30日(木) 〈メール受付〉6月30日(木) 17:00 締切

※期間外に到着、また受信した応募用紙は受付できませんのでご注意ください。

**応募方法** 応募用紙に必要事項をご記入の上、郵送またはメールのいずれかでご応募ください。

- ※一次審査は、書類(応募用紙)による審査です。作品は送らないでください。作品が届いた場合は、**送料着払いにて返送**します。
- ※応募用紙は、1作品ごとに1枚作成してください。
- ※応募用紙をコピーして使用する場合は、縮小せず、A3判もしくは片面ずつA4判2枚にコピーしてください。
- ※複数の作品を応募する場合は、応募用紙をまとめてお送りください。メールの場合も、応募用紙のファイルをまとめて添付して送信してください。応募作品の合計数を郵便の場合は封筒裏面に、メールの場合は本文に明記してください。
- ※応募用紙は、返却しません。必ずコピーしたものを保管してください。

応募用紙ダウンロード

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS ウェブサイト内  
<https://www.diversity-in-the-arts.jp/projects/5contest>



**応募用紙記入例** (縮小版)

団体の場合は、担当者名を忘れずに!

単位 (cm, Kg) に注意してください。

応募者情報		※結果通知等の送付先	
ふりがな 特定非営利活動法人 ゆったりアート	作者との関係 1. 作者本人 2. 親権者(未成年の場合) 3. 保護者 4. 後見人 5. 権利を移譲された法人	ふりがな 山田 太郎	
〒 530-0099	大阪府 大阪	大阪府 大阪	
住所	北区〇〇町12-3-45	XXXXビル6階	
連絡先	電話 06-XXXX-XXXX	FAX 06-XXXX-XXXX	
メール	XXXX-XXXX@XXXX.jp		
作者情報			
ふりがな 川井 花子	ふりがな 作者名(雅号) フローラ	氏名(本名)	
生年月日	1980年10月20日 (41歳)	居住地	兵庫 都・道・府・県
障害種別	知的 発達・精神・身体・視覚・聴覚・難病・その他( )		
作者について (プロフィール、創作活動歴など)			
2001年より「ゆったりアート」のアトリエで、創作活動を続けています。油彩や水彩が多いですが、2年前から造形にも挑戦しています。			
<b>グループ作品の場合</b>			
1. 「作者名」にグループ名を入れてください。			
2. 作者全員の名前と生年月日、居住地、障害種別を「作者について」に入れてください。			

読めるように文字は大きく!

応募作品情報		制作年(西暦)	
作品名	クロちゃんのお菓子な家	2019 年	
作品種別	<input type="checkbox"/> 絵画(イラスト、グラフィックデザイン、印刷されたものを含む) <input type="checkbox"/> 書 <input type="checkbox"/> 写真 <input checked="" type="checkbox"/> 造形		
大きさ・重さ	A たて(高さ) : 18.5 cm                 B よこ(幅) : 16.6 cm                 C 奥ゆき : 25.6 cm                 D 重さ : 0.95 kg		
素材	紙粘土、水彩絵の具、ボンド、釘、板		
作品について (作品のPRポイントや創作した時の様子など) 猫のクロちゃんの家をつくることになりました。紙ねんどで、マカロンやチョコレート、キャンディーをつかって、おいしそうなお菓子の家ができました。煙突の上にクロちゃんがいいます。一番好きなお菓子は、家の裏にあるロールケーキだそうです。			

作品写真の上側に○をつけてください。



枠内に追加できる写真

- ・両面作品の裏面の写真
- ・正面以外の角度からの写真
- ・作品の一部を拡大した写真など

「作者について」、「作品について」、作品写真は必ず枠内に入れてください!

**応募用紙送付先**

応募用紙の送付先は裏面をご確認ください。

**個人情報の取扱** 応募用紙に記載された個人情報は、以下の利用目的で利用させていただきますので、ご了承の上ご応募ください。

- ① 本公募展事業に関する連絡、作品および資料送付、次年度以降を含む本公募展事業のご案内
  - ② 本公募展事業における公募展(展覧会)、図録、主催者が発信する情報媒体、および各種メディアにおいて、作品名、作者名(雅号)の掲載
  - ③ 本公募展事業のために必要な業務、および主催者が実施する事業向上のための調査、分析
  - ④ 本公募事業において、契約等により適切な管理・保護監督のもと、必要な範囲内での業務委託先への提供
- ※利用目的以外で利用する場合は、法令に基づく場合をのぞき、応募者の同意を得た上で利用します。



## 秋元 雄史

AKIMOTO Yuji

練馬区立美術館 館長／  
東京藝術大学 名誉教授／  
金沢21世紀美術館 特任館長／  
国立台南芸術大学 荣誉教授

photo by KAMADO

1955年生まれ。東京藝術大学美術学部卒業。1991年～2006年ベネッセアートサイト直島のアートプロジェクト担当。2004年より地中美術館館長、ベネッセアートサイト直島・アーティストディレクターを兼務。2007年4月～2017年3月金沢21世紀美術館館長。2015年4月～2021年3月東京藝術大学大学美術館館長・教授。2018年4月～練馬区立美術館館長。主なプロジェクト、展覧会は、「直島 家プロジェクト」、「地中美術館」、「スタンダード、直島スタンダード2」(直島)、「金沢アートプラットホーム2008」、「金沢・世界工芸トリエンナーレ」(金沢、台湾)、「工芸未来派」(金沢、ニューヨーク)、「ジャポニズム2018・井上有一展」(パリ、アルビ)、「あるがままのアート 人知れず表現し続ける者たち」展(東京)、「井上有一展」(北京、上海)等。2021年から、北陸三県を跨ぐ工芸祭「GO FOR KOGEI」、「クタニズム」をディレクション。



## 上田 バロン

UEDA Baron

FR/LAME MONGER 代表／  
イラストレーター

京都の西陣織職人の祖父の家系に生まれる。2000年よりデジタルツールを駆使した硬質なボードなラインを使い、ブランド化されたバロン目を持ったキャラクターイラストレーションを描く。フラットな表現でありながらアグレッシブな奥行きを感じる構図、そしてポップ&トゥーンスタイルが支持されている。広告や出版、ゲーム、メディアや巨大壁画など国内外で幅広く展開。幻冬舎「会話型心理ゲーム人狼」シリーズのキャラクターデザインがある。京都の茶室にシルクスクリーンプリントで仕上げた大作「Hachi」をはじめ、風神雷神図や黄金の舞妓図など日本の伝統技術と箔とデジタル表現を使った作品を生み出す。LIMITS世界大会2017で世界3位。玄光社より上田バロン初作品集『EYES』発売。



## エドワード M. ゴメズ

Edward M. Gómez

brutjournal 創刊者 兼 編集長

アートジャーナリスト、評論家、キュレーター、グラフィックデザイナー。新しいアートマガジン『brutjournal』(www.brutjournal.com)の創刊者兼編集長で、アウトサイダー・アートマガジン『RAW VISION』の元主任編集者。『ニューヨーク・タイムズ』、『アート+オークション』、『アート&アンティーク』、『フォーク・アート・マガジン』、『ハイパーアレルジック』、『ブルックリン・レイル』、『ジャパントゥイズム』、『日経アジア』や、その他多くの出版物に記事、エッセイ、写真を提供している。ニューヨークと東京を拠点に活動中。スイス・ローザンヌのアー・プリュット美術館諮問機関員。



## 中津川 浩章

NAKATSUGAWA Hiroaki

美術家／アートディレクター

美術家としての制作活動と同時に、さまざまな分野で社会とアートの関係性を問い直す取り組みを行う。表現活動ワークショップ、バリアフリーアートスタジオ、美術史ワークショップ、講演等を通じて人間が表現することの意味、大切さを伝えている。アートスタジオオディレクション、展覧会企画・プロデュース、キュレーションを数多く手がけ、川崎市岡本太郎美術館「岡本太郎とアー・プリュット」展キュレーター、「ビッグ・アイ アートプロジェクト」展覧会アートディレクター等々務める。(同) 表現活動研究所ラスコー代表、一般社団法人Art InterMix代表、一般社団法人Get in touch理事、認定NPO法人アー・ロード・ヴィーヴル理事、NPO法人エイブル・アート・ジャパン理事。



## 永野 一晃

NAGANO Ikko

写真家

公益社団法人日本写真家協会(JPS)会員・京都読売写真クラブ代表・フォトコンテスト審査員等。1945年京都市生まれ。印刷会社企画部勤務を経てフリーの写真家。京都を中心に、骨董美術品・建築・料理・伝統工芸・人物ルポなどを撮影し出版物・雑誌に発表している。



## 望月 虚舟

MOCHIZUKI Kyoshu

書家

1949年、姫路市生まれ、新潟大学教育学部書道科卒業。現在姫路市立好古学園大学校講師、関西代表作家展陳列部長。毎日書道展運営委員、大賞選考委員を経て、現在に至る。近畿地区独立書人団近畿地区統括、姫路美術協会運営委員、毎日書道展大賞受賞、(公財)独立書人団会員賞受賞、虚舟書法会会長として活躍中、作品揮毫、作品解説を通じて、書の臨書感、創作感を講話、研究集録などを通じて、自論を展開している。著書『コツがわかれば誰でも書ける』など。



## 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展とは

日本財団が進める「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS (ニッポンザイダン ダイバーシティ・イン・ジ・アーツ) プロジェクト」は、「障害者と芸術文化」の領域への支援を通して、誰もが参加できるインクルーシブな社会の実現を目指すプロジェクトです。

既成の形式にとらわれない多彩な展覧会などの企画、積極的かつ横断的な情報発信等、多様性の意義と価値を広く伝える様々な事業を実施しています。

公募展事業は、本プロジェクトの一環として実施する事業です。

アートを通じて障害のある人、ない人、全ての人々の交流を促し、感動やよろこびを共有しながら、障害のある人自身が自己の可能性を見いだせるよう、アート活動の機会を提供するとともに、才能あるアーティストの発掘や、障害のあるアーティストの活動の支援を行い、多様性の意義と価値を広く社会へ発信しています。

お問合せ／応募用紙送付先(郵送・メール)

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展 係

キューアーツ  
[事務局] 特定非営利活動法人 CUE-Arts

TEL 06-6940-6767 (土日祝を除く 10:00~17:00) FAX 06-6940-6768

郵送 〒530-0022 大阪府大阪市北区浪花町 13-38 千代田ビル北館 4F-E

メール contest@diversity-in-the-arts.jp

日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS ウェブサイト「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」  
<https://www.diversity-in-the-arts.jp>

# 応募用紙

※1 作品ごとに応募用紙を1枚作成し、必ずコピーしたものを保管してください。応募用紙は返却しません。

## 応募者情報 ※結果通知等の送付先

応募者名	ふりがな .....		作者との関係 (いずれかに○) 1. 作者本人 2. 親権者(未成年の場合) 3. 保護者 4. 後見人 5. 権利を移譲された法人	
	団体の場合は、法人名(施設名・学校名)と、担当者氏名を記入してください			
住 所	〒		都・道 府・県	市・区 町・村
	.....			
		主催者からの本公募展事業以外のお知らせも郵送で希望される方は「希望する」に☑を入れてください。		<input type="checkbox"/> 希望する
連絡先 日中つながる電話など	電話	FAX		
	メール			
	主催者が発信するメールマガジン(本公募展事業以外のお知らせも含みます)配信の登録を希望される方は「希望する」に☑を入れてください。			<input type="checkbox"/> 希望する
<b>作者情報</b>				
作者名	ふりがな .....		ふりがな .....	
	氏名(本名)		作家名(雅号) ※使用される方のみ記入	
生年月日	(西暦)	年 月 日 ( 歳)	居住地	都・道 府・県
障害種別 該当項目に○	知的・発達・精神・身体・視覚・聴覚・難病・その他( )			
作者について (プロフィール、創作活動歴など)				

事務局使用欄 ※受付・審査の処理に使用しますので、ここに記入しないでください。

